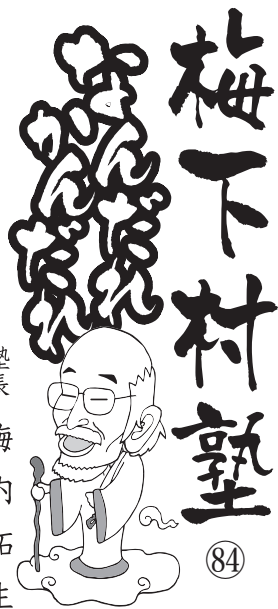


# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(太陽と命)

短歌 小友町 菅野  
貞 東海文芸 2月28日(木)

生みたての卵が届くの  
年の暮れ朝餉いの膳に  
一品添えて

ほとぼしる深紅の色の  
シクラメン仮設の部屋  
に春待つ思い

わあきれい歓声あげる  
友二人森羅万象照らし  
た落暉

わあきれい極楽浄土は  
母の海ゆれて沈んだ落  
陽の波

“生みたての卵が届く  
年の暮れ朝餉いの膳  
に一品添えて” “ほと  
ぼしる深紅の色のシク  
ラメン仮設の部屋に春  
待つ思い” 詠作者は津  
波の被害を受けて、仮  
設住宅に住んでいらっ  
しゃるのですね。小友  
町は小高い場所にある

所は津波からまぬがれ  
たと思います。

農家では鶏を飼って  
おります。広田湾から  
昇る太陽と鶏が産んだ  
新鮮な卵、仮設住宅の  
部屋の深紅のシクラメ  
ン、(太陽と命)のイメ  
ージが湧いてきます。

“わあきれい歓声あ  
げる友二人、これは  
俳句になりますね。落  
日の美しさを感じた喜  
びが強く伝わってきま  
す。芭蕉の俳句を思い  
浮かべました。

“あかあかと日は難  
面(つれなく)も秋の  
風”。春の落日の命の  
喜び、秋の落日の命へ  
の哀愁、短歌と俳句、  
江戸時代と現代の詠作  
者の世界がつながりま  
すね。“わあきれい極  
楽浄土は母の海ゆれて  
沈んだ落陽の波”、こ  
れは実際の情景ではな

く、想像の世界を詠ん  
でおりますね。  
無村は実際の海を俳  
句に詠みました。“春  
の海終日(ひねもす)  
のたりのたりかな”、  
まさに浄土の海です  
ね。

(税制と行政力の劣  
化)

梅下村塾⑧(東海  
新報記事から)で、日  
本の水産業は衰退を始  
めており、その原因の  
一つが、生産と販売と  
消費、そして資源の持  
続的利用を目指した政  
策の欠如にあると指摘  
した小松正之政策研究  
大学院大学教授の意見  
に触れた。

現在、大阪市の橋下  
徹市長を中心に日本全  
体の地方行政システム  
の改革への運動が大き  
な関心を呼んでいる。  
小松教授が指摘するよ  
うに、国税と地方税の  
権限に関する議論を呼  
び起こし、その改革を  
実践しているノルウ  
エーなど北欧の国々は  
過去50年以上も前か  
ら、過去の経験を踏ま  
えていろいろな行政改  
革に取り組んできてい  
る。

その中心となるの  
が、行政の仕組みをシ  
ステムの全体像の中で  
捉え、問題点をあぶり  
出して、改革に取り組  
む姿勢を保っているこ  
とである。いわゆる、  
合理的な取り組みであ  
る。「日本はどうも、由  
らしむべし、知らしむ  
べからず」の因習をひ  
きずいており、それが  
じわっと問題を生じさ  
せるわけである。天下  
り体質に纏わる問題は  
そのひとつである。こ  
れが、草の根では、「長  
いものには巻かれる」  
となって、根っこが腐  
って来るのである。

例えば、これが引き  
起こしている大きな問  
題は1000兆円にも  
及ぶ国の借金の積み立  
てである。国民はこの  
莫大な負の借財をどの  
ように対処すべきか、  
真剣に考えなければな  
らない。この国の大負  
債を国民がどう解決す  
るか、この国の国際  
的信用と生き方にも大  
きく関係してくる。

出して、改革に取り組  
む姿勢を保っているこ  
とである。いわゆる、  
合理的な取り組みであ  
る。「日本はどうも、由  
らしむべし、知らしむ  
べからず」の因習をひ  
きずいており、それが  
じわっと問題を生じさ  
せるわけである。天下  
り体質に纏わる問題は  
そのひとつである。こ  
れが、草の根では、「長  
いものには巻かれる」  
となって、根っこが腐  
って来るのである。

例えば、これが引き  
起こしている大きな問  
題は1000兆円にも  
及ぶ国の借金の積み立  
てである。国民はこの  
莫大な負の借財をどの  
ように対処すべきか、  
真剣に考えなければな  
らない。この国の大負  
債を国民がどう解決す  
るか、この国の国際  
的信用と生き方にも大  
きく関係してくる。

例えば、これが引き  
起こしている大きな問  
題は1000兆円にも  
及ぶ国の借金の積み立  
てである。国民はこの  
莫大な負の借財をどの  
ように対処すべきか、  
真剣に考えなければな  
らない。この国の大負  
債を国民がどう解決す  
るか、この国の国際  
的信用と生き方にも大  
きく関係してくる。

例えば、これが引き  
起こしている大きな問  
題は1000兆円にも  
及ぶ国の借金の積み立  
てである。国民はこの  
莫大な負の借財をどの  
ように対処すべきか、  
真剣に考えなければな  
らない。この国の大負  
債を国民がどう解決す  
るか、この国の国際  
的信用と生き方にも大  
きく関係してくる。

例えば、これが引き  
起こしている大きな問  
題は1000兆円にも  
及ぶ国の借金の積み立  
てである。国民はこの  
莫大な負の借財をどの  
ように対処すべきか、  
真剣に考えなければな  
らない。この国の大負  
債を国民がどう解決す  
るか、この国の国際  
的信用と生き方にも大  
きく関係してくる。

の全体から掘り起こし  
て整理したものは、大  
きな力となる。もちろ  
ん気仙地方はこれに大  
いに寄与できると考え  
ている。

いた。経済大国も軽装  
備なら憎まれまい、と  
タ力をくくって来た。  
と述べている。世迷言  
の奥にはこの考えと共  
通するものがあるのだ  
ろう。

2月27日の「世迷言」  
はアベノミクスについ  
て述べているが、政治  
家の責務は現実の暮ら  
しむきに関係する問題  
をどう解決するかであ  
る。デフレ政策はデフ  
レで苦しみ、反対にイ  
ンフレ政策はインフレ  
で悩む。一筋縄ではい  
かないのが、現実問題  
の解決である。世迷言  
は、この困難な世の中  
の問題を十分に感じ取  
って述べているものと  
思う。

3月4日(月)の毎  
日新聞の2面の「風知  
草 山田孝男 繁栄の  
代償」は「経済大国」は  
必然的に「軍事大国」  
である。競争相手の妨  
害を、時に武力で排除  
しなければならないか  
らだ。軽武装の経済大  
国・日本の繁栄は超大  
国アメリカに守られた  
例外であった。その自  
覚が日本側に薄かっ  
た。

世界第3位の経済が  
軍事的保護と無関係に  
成り立つと思っていこ  
う。

世界第3位の経済が  
軍事的保護と無関係に  
成り立つと思っていこ  
う。

では一体、経済の質  
的転換とは何を指して  
いるのだろうか?ここ  
では何も触れられてい  
ないが、それは、今ま  
で「梅下村塾」で繰り返  
し述べてきた、地域の  
歴史と文化の奥にあ  
るものを掘り起こし  
て、21世紀文明の価値  
意識と共鳴するものを  
創り出すことであると  
思う。東海新報が地域  
で、この役割を果たす  
ことが期待されてい  
る。

では一体、経済の質  
的転換とは何を指して  
いるのだろうか?ここ  
では何も触れられてい  
ないが、それは、今ま  
で「梅下村塾」で繰り返  
し述べてきた、地域の  
歴史と文化の奥にあ  
るものを掘り起こし  
て、21世紀文明の価値  
意識と共鳴するものを  
創り出すことであると  
思う。東海新報が地域  
で、この役割を果たす  
ことが期待されてい  
る。